



いなみ町議会だより



2009消防団出初式

12月定例議会

議案審議	P2~P3
一般質問 (6議員)	P4~P9
委員会活動報告	P10~P11
企業めぐり・あとかぎ	P12



2009年 初詣

平成二十年十二月定例会 議案審議

平成20年第4回印南町議会定例会は12月8日開会し、15日閉会しました。
 今回の定例会の上程案件は、教育委員の任命2件、条例関係9件、規約の変更2件、20年度補正
 予算4件（一般、特別3件）、の計17件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。

平成20年度補正予算審議

一般会計 352万3千円を追加

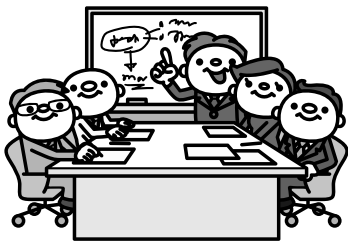
総額 47億8,569万8千円

3特別会計 5,260万円を追加

一般会計

歳入で主な増額は地方交付税で約1,969万円、主な減額は国庫支出金で674万7千円の減、県支出金で622万4千円の減となっています。

歳出で主な増額は総務費で1,029万円、衛生費で286万円、主な減額は民生費で748万7千円の減、土木費で553万3千円です。



教育委員会委員の任命

本定例会において教育委員会委員の任命が上程され、次の方々が議会で同意されました。

教育委員会委員

- ・ 森 秀材
 崎ノ原275番地
- ・ 石橋理代
 印南1741番地の1

任期は4年となっています。

各議案に対する質問と答弁

一般会計補正予算

Q 老人福祉費で緊急通報体制整備に24万円が計上されていますが、具体的な内容の説明を求めます。

A 一人暮らしの高齢者を対象に緊急通報装置、N.T.T等の電話の横に緊急通報装置を設置します。ボタンを押すと近隣の3軒の方に通報が自動的につながります。現在、町内に133台設置し、今回5台分の予算計上です。

Q 土木費の中で、道路工事請負費として300万円が計上されていますが、説明を求めます。

A 町道10路線程度の路線修繕です。大型車両等の増加と老朽化により路面が痛んできています。そのための予算です。

Q 保健体育費の中に負担金補助及び交付金に20万円が計上され、中学校体育大会派遣となっていますが、具体的な説明を求めます。

A 議会初日、担当課からゴミ処理の有料化の説明を受けました。その中で「ゴミの減量化」をあげていますが、周りの市町はゴミ袋の有料化を行っているが、そのあたりを事前の調査は行っていますか。

A 県駅伝やテニス大会等、県大会への出場選手が例年よりも多かったため、20万円の増額となっています。

Q 衛生費の予算に指定ゴミ袋代として270万円計上されていますが、基本的な姿勢をお聞きます。

A 平成21年度当初のゴミ処理費用を含んだ指定ゴミ袋の改正を念頭に置いた金額です。平成21年度当初に指定ゴミ袋を改正するにあたっては、20年度である程度の量の確保が必要となり、約2ヶ月分のゴミ袋の購入による予算計上です。

Q 目標として減量化は図れると確信していますか。

A 目標として減量化は図れると確信しています。

A 目標として減量化は図れると確信しています。

す。

住民の方に、ゴミ袋の1割を負担していただければ分別が進むと考えています。

Q 住民への説明については具体的にどのような方法で行うのですか。

A 区の総会等がありま
すから、そちらに向
いて説明を行い理解を求めま
す。

Q 住民からの理解が得られなかった時は、この計画はもとに戻しますか。

A ゴミ処理有料化を行うには条例の改正が必要
です。
3月議会で承認されなかつた場合や住民に理解が得られなかった時は、そのまま条例改正(案)をあげるわけにはいきません。

Q 民生費の後期高齢者医療費でシステム改修費用として247万8千円が計上されています。これは主に保険料の変更によるシステムを改修するための費用ですが、印南町では対象となる人はどれほどになりますか。

A 従来より7割軽減であった者のうち、年金収入が80万円以下の者は9割軽減に。

所得の部分では年金収入が153万円から211万円の者は所得割を5割軽減する、という追加措置です。

9割軽減の対象者は18.6%、7割軽減の対象になるのは17.8%程度、5割軽減の対象者は3.06%。2割軽減の対象者は4.2%になります。所得割の部分で5割軽減の対象者は8.15%になります。

(採決の結果)
12対1で平成20年度一般会計補正予算(第3号)は可決されました。

後期高齢者医療 特別会計補正予算

Q この制度は本年4月からスタートして、これまで合計で5回にわたり保険料が年金から天引きされました。

この制度は早くも制度の変更(保険料の変更)などが行われるなど、速いスピードで制度が変わっていますが、その背景には何があると考えますか。

A 国においての見直し作業が実施されているものだと考えます。

(採決の結果)
12対1で平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算は可決されました。

町立運動場の設置及び管理に関する条例の一部が改正されました。

条例改正の主な内容

印南の若もの広場、古井の運動場の夜間照明の料金設定を3時間当たりの料金設定を町民からの短時間利用に対して要望があったため1時間当たりを追加した。

若もの広場(町外の者)
9450円を3150円

古井運動場(町外の者)
7350円を2450円

若もの広場(町内の者)
3150円を1050円

古井運動場(町内の者)
2520円を840円

Q 今回、テニスコートの照明料金の対応はありませんが、テニスコートは

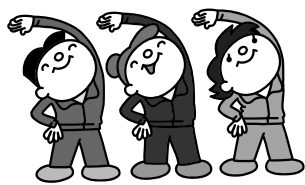
現在、子ども達が週1回、夜間に利用している状況の中で同じように料金改正を行うべきではないですか。

A テニスコートについては今回、要望がありませんでしたので条例改正の内容には含んでいません。

Q 要望があれば、テニスコートの照明も対応してもらえますか。

A 要望があれば1時間当たりの料金の設定の検討をさせていただきます。

(全会一致で可決)



町立学校設置条例の一部が改正されました。

条例改正の主な内容

本年3月議会で真妻小学校、上洞小学校、切目川小学校の統合が可決。

本年10月に3校区の代表者で組織された3校統合合同協議会において、新しい小学校の校名が「清流小学校」に決定されたのを受けて、条例を改正するというもの。

Q 校名は公募を行って決定したと聞きました
が、その前後の経過の説明を求めます。

A 清流中学校区(真妻、上洞、切目川小学校区)

の人全てを対象に公募を行い、その結果「清流小学校」という校名が9割くらいありました。

この校名を3校統合合同協議会で決定した、という経過です。

(全会一致で可決)



子育て支援の一環として 保育料軽減を 2009年度の町予算で実現を!



榎本 一平議員

質問 当町には3つの保育所、1つの僻地保育所の合計4つの保育所があります。

保育料は児童福祉法で「市町村は家計に与える影響を考慮して徴収する」となっています。

当町では国の保育料の基準に準じ、年齢は3才未満、3才、4才以上で7段階で設定され、前年度の所得で、その年の保育料が決定されます。

町の保育料設定は国の保育料基準に対し、割合はどのようになっていますか。また、郡内の市・町との比較はどうでしょうか。

答弁 教育次長

当町は90%。御坊市67%、みなべ町90%、由良町49%、日高町52%、53%、美浜町60%となっており、郡内の状況と比較すれば高い設定になっている。

日高郡内の中では高い設定となっており、間接的に「保育料が高い」という声は聞いており、高いと考えている。

再質問 「保育料が高く家計のやりくりが大変。下げてほしい」との要求が多く上がっている。町長が行っている地区懇談会でもその声が出されています。

2009年度の予算で保育料軽減の対応を行うべきではありませんか。

答弁 町長

保育料の軽減は私の公約であり、子育てしやすい環境を作る上でも必要だと考えます。

幼保一元化のスタートと同時くらいに国の基準もしくは現行制度の半額化をめざしたいと考えている。



あけぼの保育園

地域経済の現状と行政の対応を問う

質問 深刻な経済状況の中で、麻生内閣はまともな対策を持ち得てなく、消費税増税を打ち出しました。これでは景気はよくなるはずはありません。

町内でも農家、土建関係をはじめ、各分野の人々は悲鳴を上げています。先日、JA印南支所、商工会で現状を伺い、改めて深刻な状況を認識しました。

町民の暮らし、経営を守るために町が講じるべき対策を検討するための実態調査の実施が必要ではありませんか。

また、2009年度の予算の中に、対応策は予定されていますか。

答弁 産業課長 全ての産業で深刻な影響が出ています。

対応策として、国の予算で

肥料、燃料の価格高騰に対する緊急対策があります。

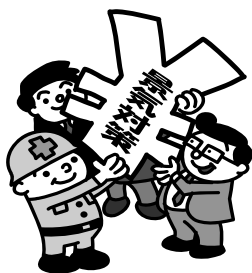
燃料や肥料の使用料の2割を減らす農業グループに対し増加分の7割を補填する措置が導入されました。

鳥獣害防止対策として新年度で1戸でも町単独事業で対応できるように実施を検討しています。

商工業では融資制度の見直しを行い、小規模事業者を対象にセーフティネット保証制度を利用してもらっています。

来年度は経営改善資金融資制度を受けた者に対し、利子の一部を補給しようと考えています。

町でもいろいろな対策を講じており、現在は経済の実態調査は考えていない。





谷井 長平議員

安心して暮らせるまちづくりを早く!

切目川水系 河川整備について

質問 切目川多目的ダム、切目川下流河川改修事業の完成目標年度、進捗状況、事業費等はどうなっていますか。

答弁 建設課長

多目的ダムについては、治水・利水・湧水対策の3つの目的を持っています。

全体事業費は160億円で平成19年度まで58億円が投入されています。

現在、高串トンネルはほぼ完成し、2つの橋の工事を施工中です。

ダム貯水池の用地契約も95%と進んでいます。平成26年度完成を目指し、順調に進捗しています。

切目川下流域河川改修事業ですが、現在、汐止堰の改修と護岸約100mの改修工事が施工されています。総事業費は21億円の計画であり、平成27年度が完成予定となっています。

なお、天王元の川替えにより廃線敷きとなる土地利用計画ですが、町が県から譲渡を受け、埋め立てをした後用地提供者に優先的に農地として払い下げ、残った土地については周辺地区の環境に違和感

のない土地利用が図られるよう活用していきたいと考えています。

町内全域30分圏の実現を

質問 国道425号、黒潮フルーツライン事業、基盤整備促進事業についてはどうですか。

答弁 建設課長

国道425号の整備ですが、稲原地区は完了しています。美里地区の通称脇ノ谷の三叉路については、来年度から工事着手の予定となっています。田ノ垣内から上洞地内の3,620mは、ダム関連で順調に進められています。

上洞から川又地区の約3kmの未改良区間について、県、国に対して新規採択の要望を再々行っていますが、着手までは至っていません。

黒潮フルーツライン事業については、農業用道路14.4km、区画整備52.5ha、暗渠排水70ha、農用地造成27.3haを整備する事業として進められています。

今までに149億円が投入されています。全体事業費は223億円となっています。当初計画では、平成21年度

完成の予定でしたが、平成21年度完成は非常に厳しい状況です。

基盤整備促進事業（岐山農道）ですが、生活の利便性、安全性、並びに農作業の効率性、生産性の向上を図るために、平成17年度から事業開始、順調に進捗しています。

現在施工中の工事は、本線644m、支線125mの区間で進められています。来年度は一部残っている区間の工事と全線延長1,813mの舗装工事を施工することとなっています。

平成21年12月までに工事を全て完成し、平成22年1月から供用開始したいと思っています。

全体事業費は、当初10億3千7百万円でしたが、約2億円減の8億3千万円前後となる予定です。



早期完成が待たれる黒潮フルーツライン





畑中 豊議員

こども公園の設置を

質問 現在の町内の出産数を調べてみますと、1歳児から6歳児までの就学前の子どもの出生数は平均75人であり

ます。少子社会に生きる子ども達に行政の暖かい光を当てながら若い人たちが一人、二人と町内に増えていくことが叶う政策はないのでしょうか。

今、町内の特に幼児を持つ若い親御さんが子育ての中で強く望まれていることがあります。それは青空の下、少子社会に生きる町内の子ども達が、笑顔でふれあい交流も広がっていく子ども公園の設置であります。

印南になぜないのか、なぜ作ってくれないのかという声がよく聞かれます。執行部にも届いている声だと思えます。このことも子育て支援の一環事業として大事なことと思われませんが、町長いかがでしょうか。

答弁 町長

この公園の設置につきましては、これまでに開催した地区懇談会でもご要望をいただいているところです。

周辺の自治体の文化施設等と比べると印南町は正直、遅れているのかなと私もそういう思いをしております。

で、庁内で幼保一元化施設のプロジェクトを立ち上げた際に、公園の議論も同時に重ねてきているところです。

子どもの遊具のついた、ちよつと大きめの公園をカルフル・ド・ルポ印南の前の空き地あたりに出来たらいいなというようなことで、現在も議論を進めております。

このように、公園の必要性、特に町民の皆さんが集まる、ちよつと大きめの集合公園みたいなものの必要性ということを私はしっかり認識しており、設置に向けた方向で推進していきたい。

再質問 プロジェクトで検討されている場所の問題ですが、3月議会でも本郷の漁港埋立地はどうかとの質問もありましたが、私も学校の廃校跡地の活用も検討すべきではないかと思いますがいかがでしょうか。

答弁 町長

もちろん、廃校跡地についても考えられるわけですが、現在の人口分布であるとか幼保一元化施設の設置を考えると、今のところ有効な場所は、先程申し上げた場所かなと思っております。

幼保一元化施設設置に合わせた公園整備を

質問 若い世代の人たちの子育て支援については、一っだけの施策で十分ということではなく、施設の整備、保育料の軽減等を重ね合わせ実施すべきと考えますが、どうか。

答弁 町長

今質問いただいたことは、私としては、かなり優先順位を高くしてやっているつもりであるということをご理解いただきたいと思います。

再質問 最後にもう一度質問します。幼保一元化施設の設置に合わせて公園を設置する考えは。

答弁 教育課長

そのつもりでやっています。



子ども公園の候補地の一つ、ルポ印南前（東側）





榎本 敏夫議員

新年度の諸事業の推進と 予算編成構想はいかがか

質問 今年も余白少なくなり、直ぐ新年を迎えます。そして、新年度予算編成の到来です。

今年をふり返りますと、少子高齢化の進む中、町内では学校統合により今まで地域の中心的存在だった学校が廃校で取り壊しとなり、次々と姿を消していく淋しさ、また、町外からお客さまを迎える催しも少なくなり、更には年々、在住人口の減少、また、町内全域で遊休農地が見られつつあります。

こんな中、淋しさを吹っ飛ばす新年度諸事業を推進する予算編成構想はいかがでしょうか。

住民と距離を近づけて

答弁 町長

就任以来10ヶ月、一貫して言い続けてきた住民の皆さんとの距離を近づけたい、その思いから職員の意識改革を進め、また住民の皆さんに積極的に意見をいただき、また私の考えをアナウンスをしていきたいと思うことから地区懇談会を開催するなど、積極的に日々取り組んでいるところであります。

懇談会は4月から実施し、

現在では10ヶ所を数えております。住民の皆さんと膝をつき合わせ生の声を聞かせていただき、行政への意見や地域の課題など叱咤激励を受け、また私の考えをお伝えさせていただいているところであります。残す地区につきましても、約1年半くらいで全て回るよう、区長さんと調整を経て、順次計画していくつもりでございます。

職員の意識改革につきましても希望降任制度の導入、決裁規程の見直し、住民票の宅配サービスの実施等を通じ、徐々にこれらの成果が現れ、行政内部の活性化と、公約に掲げた各種施策の実現のための補助執行体制が整うものと期待しているところであります。

産業振興については、定期的な企業訪問、遊休地施設への積極的な企業誘致、防油堤の設置事業、狩猟免許取得等の補助制度、真妻わさび復興のための各種支援、ミニトマトハウス用ハイブリッドヒートポンプの補助制度、築いそ工事の実施、イサキ、クエなどの稚魚の放流、印南町ゴルフコンペの開催の支援等実施してまいりました。

今後モスクラップ・アンド・ビルドの基本姿勢で改革

していくもの、新しく取り組んでいくものを見定めながら、その都度、議会や住民の皆さんと情報を共有しながら進めていきたいと考えております。

これらを基本に新年度予算編成に臨みたいとの考えから、冒頭行政報告においても情報を発信させていただいたわけでございます。

一部紹介させていただきますと、建設関係につきましても農業用施設整備事業、これは20万円以内の国や県の補助制度に採択されない小規模な農業用施設の改修費に補助金を支出する事業ですが、これの準備にかかっております。ブロードバンド整備につきましても、残す上洞、川又地区への事業展開を予定しており、これをもって、町内のブロード網の整備が整うことになると思います。

また、一般廃棄物の収集運搬業務の民間委託、ゴミの減量化、CO2削減などを目指し、処理費用の一部をご負担いただき、生ゴミ処理機の購入補助制度を設けることなど、現在詳細検討しているところであります。

幼保一元化に向けた具体的計画も来年度中に完成させる予定であります。

前納報奨金制度や納税組合制度の廃止など、一定の役割の終えたものは見直していく所存です。はじめに申し上げましたようにスクラップ・アンド・ビルドの基本姿勢により、行政改革で財源確保を図り、必要などころには財政出動を行うことを念頭に、事業推進と予算編成を行います。

スクラップ・

アンド・ビルド

スクラップ・アンド・ビルドとは、古いモノを壊し、代わりに新しいモノを作るといった意味です。この場合の「モノ」は施設などのハード面だけでなく、施策や事業などのソフト面も含まれています。



道 修一議員

印南町のまちづくりの構想について

地域福祉の充実について

質問 町長の選挙公約の中に地域福祉の充実があります。さて、障害者通所施設を切目大型作業所跡を利用することで検討されているそうですが、これは18年度からの経緯もあって障害者父母の会では21年度開園と思っている方もあり、町政に不満を持っている方もあります。町長の答弁をお願いします。

答弁 町長

このことについては19年12月議会において当初計画が4点の理由から大きく見直さなければならぬ、との報告があったものと聞いております。

現在、担当課に既存の施設の有効活用も視野に入れて、規模・財源の確保・授産科目・事業の主体等、事業団だけではなく、あらゆる角度から検討するよう指示している次第です。

再質問 その時の担当課長が障害者父母の会へ、事業の見直しについて説明に行き、了解をもらった。と現担当課長から聞きましたが、父母の会では21年4月に開園すると受

け止めている父母もありません。そのあたり藪の中ですが、いかがですか。

答弁 町長

住民の皆さんと十分なキャッチボールがとれてなかったと考えます。いろいろあったとは思いますが、積極的に進めて行きます。

公共下水道事業の推進は

質問 公共下水道事業について、印南地区・切目地区はその計画地区であります。何年先に事業が始まるのか。

また、100億円近い事業費を必要とします。町の持ち出しも4分の1を必要とします。

計画の見直しを行い、合併浄化槽方式（浄化槽市町村整備推進事業）に計画の見直しをしてはと考えますが答弁をお願いします。

答弁 上下水道課長

当町においては、印南地区・切目地区が特定環境保全公共下水道で計画している。16年度策定の基本構想では、両地区合わせて多額の事業費が必要とされており、現在、県の全県域汚水適正処理

構想策定に合わせ、当町でも計画の一部見直しを行い、集合処理でないと浄化槽設置工事が困難な集落密集地区のみに規模を縮小すべく、検討してまいりたい。

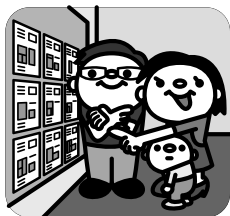
なお、合併浄化槽で対応できるところは合併浄化槽整備補助事業で行きたいと考えています。

宅地分譲の売却の現状は

質問 宇杉ヶ丘住宅団地売却促進について、72区画中、現在33区画が未売却となっております。販売促進について和歌山県宅地建物取引業協会と分譲紹介に関する協定を結び、3%の手数料を支払い、販売促進を図っていますが、現状についてお伺いいたします。

答弁 建設課長

その後1区画売却し、月に数件の引き合いがありますが契約には至っていません。



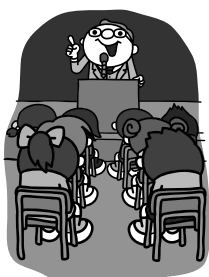
21年度の教育方針は

質問 新教育基本法、それにまつわる地方教育行政、学校教育法、その他の法改正がありました。

21年度印南町教育計画について、責任者である教育委員長から抱負と方針を伺いたいと思います。

答弁 教育委員長

町長が5Kプランとして、教育の最低限必要であることについて提案しています。それを視野に入れながら、教育委員会として、20年度教育方針の教育目標に掲げた重点目標達成のために全力を傾注していきます。





廣野 英幸議員

急げ! 印南川流域の治水対策

調整池、遊水地をすることによって流出抑制できるのでは



J R線を横断する暗渠排水

質問 印南川と柳畑川にはJRを横断する暗渠があるが、断面が小さく、洪水時には上流側の浸水等の原因となっているため改良できないか。

答弁 建設課長

確かに印南川と柳畑川にはカルバートの断面が小さい箇所があり、過去に農地等が浸水したことがある。その時にも県に対して改良するよう要望してきたが、費用対効果を考えた場合に非常に難しい。宅地などに影響を及ぼす箇所については県に要望していき

たい。

再質問 印南川流域の治水対策として調整池や遊水地を作るなどの方法をとれば下流側への影響も軽減できるので

答弁 建設課長

調整池や遊水地を新設する貯留施設の整備等は流水抑制による流域治水対策として効果的であると考えますので、県に対して提案要望していき

農業振興(鳥獣害対策)

質問 鳥獣による農作物への被害はあとを絶ちません。現在、県の農作物鳥獣害防止対策事業(2戸以上)を活用して取り組んでいます。1戸でも取り組める事業はないのか。

答弁 産業課長

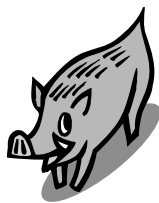
1戸でも取り組めるように現在検討してございます。

耕作放棄地対策について

質問 農業委員会等で対策に取り組んでいますが、解決にはまだまだ時間が必要です。これ以上増やさない対策として水田の場合、用水路の修繕、農道の修繕等への現物支給の対策は出来ないのか。

答弁 建設課長

現物支給ではありませんが県の事業で「住民参加型直営施行事業」の補助率5割で地元負担が軽減されました。また、この事業に該当しない小規模な整備や維持修繕に対して町から応分の補助金を支給する制度を来年度より実施すべく検討中です。



住民参加型直営施行事業について

補助の対象者は受益戸数が2戸以上の農業者があるいは土地改良区、水利組合等の団体で、地元が直営で農業用施設の整備、維持修繕(土水路をU字溝にしたり、農道の舗装をするなど) これらを施行する場合に費用(例えば労務費や材料費などの工事費)を50%以内で補助してくれるもので、事業費20万円以上500万円以下が採択要件です。

また、町が現在、検討をしている新制度の内容は県の事業の採択要件に該当しない、原則事業費20万円未満の工事や小規模な農業用施設の災害に対して対象者に補助するもので、県と同程度の補助率で実施したいと考えている。

「委員会活動報告」

総務文教常任委員会

耐震補強の完了した学校施設について

10月24日、閉会中の所管事務調査として、耐震改修の終了した学校施設について、教育次長、教育委員会主幹に内容説明を受けました。

説明

耐震診断を必要とする建物は、昭和56年以前の建物及び旧建築法で設計された建物で印南小・切目小・稲原中・切目中の校舎です。

耐震強度は0.7以上が必要です。0.3以下は危険建物とされ、建て替えを検討する数値です。

各学校の診断数値と補強後の数値は次のとおりです。

- ・印南小学校 0.38 0.79
 - ・切目小学校 0.42 0.75
 - ・稲原中学校 0.44 0.89
 - ・切目中学校 0.53 0.84
- 補強内容としては、印南小学校ではブレースという

鉄製の筋交いを7箇所、壁の補強。

切目小学校、切目中学校は揺れを防ぐためのスリット工法を各校2箇所ずつ補強。

稲原中についてはブレース8箇所を補強。

0.7というのは、震度6までは崩落とかで命に危険がないような状態をいいます。

多少の揺れは感じるかも分らないが、これ以上補強をするのはコストの問題上、大変なことになるのとことである。

切目中、切目小学校でのスリット工法について、補強現場で各委員から質問等がなされ、耐震補強による安心・安全度を確認しました。

近い将来、必ず起きると言われている東南海・南海地震に



町内各学校の耐震改修の視察

備え、印南町の宝物ともいえる子ども達の安全を第一に考えた教育施設は、今後も安全検査を続けてより安心・安全な施設にしていかなければならない。

小学校では、4校ともランチルームが設置され、学校施設として随分とよくなりました。

こういった環境の中、町内の子ども達が健やかに育つことを願ってやみません。

厚生常任委員会

障害者通所施設について

11月17日、県福祉事業団が印南町に計画している障害者通所施設について、健康福祉課長、主幹より現状説明を受けた。

課長の説明では進捗状況・現状については、現在、町においては町内の既存施設の利用をもとに県福祉事業団と検討を重ねている。具体的には、切目の大型作業場（パン工場の跡地）を第1の候補地として、県福祉事業団に伝えている。同時に施設の規模とか定員、当初30人定員だったが20人まで下げた中で実施できないか。授産科目についても見直しする必要があるのではないかと等々、改修費及び設備についても、財源確保を事業団にお願いしている。

特に財源については特定財源が国庫補助だけでなく、民営助成日本財団とかも含めた中で再度協議していく。

質疑応答

Q この授産施設については、これまで長い間検討してきた中で、今なお、この検討を重ねるといわれたが、どのような検討

を重ねるのか。

A 法が改正された中で、授産施設というよりも、具体的には就労移行支援だったり、就労継続支援というように法の改正があった。当初の計画では、梅干しの加工とか上がったが、それが今度、既存施設になった場合、梅干し加工がよいのかどうか、例えばアルミ缶とか再利用のリサイクル的なものがよいのか、また、もう少し規模を小さくした程度の作業がないのか等々、全てについてもう一度見直す必要があると考えています。

Q それでは何年度を目標に進めていくのか。

A 年度は区切っていないがなにぶん長年積年の課題であり、当町に必要な施設ということとは十二分に認識しており、設置していきたいという考えは変わっておりません。

Q いつまでも引き延ばされているか、待っている人たちがいることをよく考えて、県福祉事業団から早く回答をもらって、次の段階

へ進めるようにしてもらい、催促すべきである。

A 県福祉事業団には、再三にわたって、やりとりをしています。いろいろ踏まえたい上で真剣に協議を進めていきたいと考えています。

本施設については、平成18年度に県福祉事業団から町に対して建設の申し出があったことから、委員会も回を重ねて説明を受けている状況があり、各委員からは、目標年度を明らかにして早く実現できるようにとの意見に終始した。



産業建設常任委員会

閉会中の所管事務調査として、観光産業の振興というところで、産業課長、産業課主幹を説明員として迎え、11月7日に委員会を開催。

観光の概念については、21世紀は交流の時代であり、交流を促進するのが観光である。観光産業の振興は、地域の観光、産業を活性化させるとともに文化振興、国際化、ひとつづくり、まちづくりなど多面的な波及効果を及ぼすものであるという概念の下に、印南町における観光の現状と将来の展望について説明を受けた。

印南町の観光客数は平成19年度で528,431人であり、龍神、みなべに次いで客数は多いものの、宿泊数は下位に属す。

観光協会の会員数は53名（うち特別会員6名）となっている。

印南S.Aの日高観光物産センターは開設以来、年々売り上げを伸ばしており、20年度は1億5千万円に達するものと予想される。

今後の観光振興については印南町に存在する観光資源の掘り起こしを行い、観光協会をはじめ各団体が一体となっ



て観光振興を検討していくことではあるが、委員会として観光産業の元祖とも言える漁業の観光については、今後の観光産業を考える上で、一つの柱であるとの意見を示した。

また、印南の観光については、これが印南の観光であるという核を作り、そこを起点に枝葉を作り上げていくといったような振興を図ったかどうかという意見も示した。

印南町には、「かつお節発祥の地」「真妻ワサビの原産地」など、歴史に裏打ちされたものがある。しかし、かつお節は製造されておらず、ワサビも僅かな面積での栽培でしか

ないことから、これらの復興も検討していかなければならない。

観光というものは幅が広く、奥深い産業でもあるが、全国的にみて新しい観光へと大きくシフトさせるため、官民一体となって取り組んでいく。

第1次産業から第3次産業までを包括する総合産業としての振興を図るために印南町においても官民一体となって、アイデアを出し合い、多くの方に来ていただけるようにしなければならぬ。

産業課としては、現在、「交流サロンいなみ」構想として印南町内のグループや団体などが横の連携を保ちながら、情報交換し合う中で、協力し合い、町の活性化に取り組んでいけるような組織の設立を考えているということである。

また、真妻ワサビ復興に向け、協議会を設立し、活動しているということである。

委員会として、今後の印南町の観光振興に積極的に取り組んでいくことをお願いし、会議を閉じました。

まちづくり特別委員会

まちづくり特別委員会で、12月15日、議員定数問題について、「議員定数検討小委員会」からの報告を受け、特別委員会として調査・検討をいたしました。

町内住民よりいただいたアンケート調査の結果や小委員会での検討内容を参考に、13名の委員それぞれから議員定数に関する意見をいただきました。

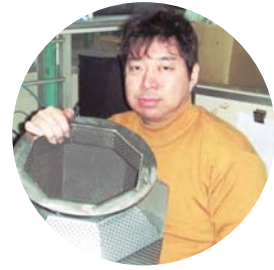
結果としましては、12対1をもって、印南町議会の議員定数を12名と決したところであります。

今後、定数条例の改正（案）を3月議会に上程し、決定することとなります。



町民の皆さんに、もっと町内企業を知っていただこうと、今月号から再び町内企業を紹介してまいります。今回は印南町宮ノ前「アイティシー」をご紹介します。

試作から量産までの金属製品製造業



山本 英喜 氏

今回、ご紹介するのは印南町宮ノ前で板金、製缶により各メーカーに製品を納入しているアイティシーです。

会社設立から今日までをお聞かせ下さい

前 身のアイテックより事業を継承したのが平成18年8月と業歴は浅いのですが、インターネット受注により、新たなメーカーとの取引が始まりました。
とりわけ、メッキ装置メーカーからの発注は売り上げの安定のみならず、社員のスキルアップにも一役かっています。
今後も既存の取引先からの受注を増やすため、また新規の取引先開拓のため、Q(品質)、D(納期)、C(価格)に取り組んでまいります。

最近の景気動向はいかがでしょうか？

「100年に一度の・」すべてのメディアがこのように報じて、事実、株価は下がり、為替は不安定と実体経営に影を落としています。

しかし、株式市場に「ご祝儀相場」というものがあるとおり、気持ちがいいを乗り越える上での大きな術だと思えます。
「景況感」

原油価格が下がり、穀物供給が安定したというよい事実もあるわけですから。

業界の価格競争にどのように対応されていますか？

昨 年までの原材料費の高騰は一息つきましたが、メーカーからの価格要求は続くものと思われま。

材料のロスを最小限に、生産性向上、不良撲滅などすべきことはもっぱらながら、さらにロス材や不良材をネット受注で有効利用することにより環境問題への取り組みとします。

得意な加工はどのようなものですか？

ス テンレスが最も多く、空調部品、耐震補強金具、メッキ装置用バスケットなど。アルミでは美観が重視され、パソコン等の装飾品、空調部品。

鉄においてはパイプも需要が多く、建設現場整理ボックス、モニター用ポール、そして隣町よりヨシダエルシス株式会社からはメッキ材を使った養鶏設備部品は小物から2m級と多品種にしてロット数も数千単位となります。

印南町への要望などはございますか？

高 速道路が開通し、トンネルも整備され、大阪方面や御坊市へアクセスしやすくなり大変便利になりました。強いて要望するならば町のシンボルで

ある「カエル」をゆるキャラにしてみては？



あしがき

新年あけましておめでとございます。新しい年が、町民の皆さんにとって良き年でありますようお願い申し上げます。

さて、昨年の世相を表す言葉として「変」という漢字が選ばれました。今年こそ、この漢字を象徴するような良い面での大きな変化を期待したいものです。

今年には印南町議会議員の選挙の年でもあり、衆議院の総選挙の年でもあります。今ほど誰もが安心して暮らしている社会をつくるのが求められている時期はありません。町にとっても、国にとっても政治の責任が求められる年になります。

私たち広報特別委員会は、今年も、よりわかりやすい議会だよりづくりに努力しますので、よろしくお願いたします。

議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 西山 徹
- 委員 廣野 英幸
- 委員 前山 立美
- 委員 谷井 長平
- 委員 鈴木 紀博